

『風は南から』

令和7年度 校長室便り
(3月6日)(第26号)



「沖高を愛するということは、島を愛するということです。(書道部より)」

3月1日に実施した「沖高フローラルフェスティバル」の中で、私も一言挨拶をさせていただきました。その中で同窓会の方がよく口にされる「沖高の発展が島の発展につながります」という言葉を使わせていただきましたが、まさにそのことを実感する一日となりました。沖高生が、「沖高をもっと知ってもらうために、そして島をもっと盛り上げるために」という思いで企画運営した初めてのフェスに、こんなに多くの方が賛同し来場されるとは想像していませんでした。自分たちが主体的に考え行動することで、少しずつ理解者が増え、その周りの方々も動いてくださったのだと思います。「沖高を愛し島を愛する思い」は、地域の方々にも確実に伝わりました。自分たちが行うことが結果的に沖永良部島の発展につながるような活動をこれからも考えていきたいと思います。



「沖高フローラルフェスティバル」



3月1日(日) 知名町フローラルパークにて、NPO法人ELOVE様、一般社団法人友井基金様、その他多くの後援団体の皆さまのご支援で、「沖高フローラルフェス」を開催していただきました。開催にあたり、広報等で知名町・和泊町、そして小中学校にも多大なご協力をいただきました。感謝申し上げます。

当日は好天に恵まれ、多くの方がご来場くださいました。午前10時から始まったステージでは、書道部をはじめとする5つの団体のパフォーマンスがあり、大変盛り上がりしました。その周りでは、部活動単位の模擬店やグッズ販売があり、どこも多くのお客様で大変賑わっていました。

また、書道教室、陸上教室、野球教室、3人制バスケットボール等の部活動の楽しさを伝える催し物や、小さな子どもも参加するストライダー大会や絵本の読み聞かせ等、いろいろな企画があり沖高生の魅力を十分伝えることができました。

改めて高校生の持つ「力」に感動しました。沖高の目指す6つの力の全てが体現されていたと思います。企画から準備・運営まで携わった皆さん、本当にご苦労様でした。「沖高生万歳！」

2年せいよさ「ポスターセッション」



2月25日(火) 6・7限目に、鹿児島大学法文学部の日高優介教授を講師にお招きして、2年普通科「せいよさ(総合的な探究の時間)」における「ポスターセッション」を実施しました。知名町役場からも2名の職員に参加していただきました。

2年生の発表を1部と2部(合計28テーマ)に分けて、それぞれ5分の発表を5回行い、商業科1・2年生と普通科1年生に聞いてもらいました。

2年生は、これまで自分の好きなテーマで探究し、NPO法人「カタリバ」のご協力で、沖高と同じ規模の高校と3回のオンライン合同授業を受けて、内容を考察し、この日発表という運びになりました。テーマが多彩で、聞いていて本当に面白かったです。

最後の講評で日高教授からは、テーマが自分困っていることや自分の内側から生まれたものが多く評価できるが、「探究」なので「究める」ことが重要。「調べる」だけで終わっている人が多い。AIも使いながら内容を深めていけば、もっとよい探究になる。日常の中の疑問を大切にしてほしいというご助言をいただきました。1年生も今回の発表を参考に、早めにテーマを設定してくださいね。

台湾来義高校への派遣について

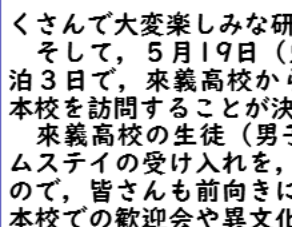


3月8日(日)から14日(土)まで、昨年9月に「姉妹校の覚書」を交わした台湾屏東県にある来義高校に6名を派遣することになりました。当初2名の予定でしたが、知名町と和泊町に国際交流の重要性をご理解いただき、本年度の「沖高教育振興事業」に係る費用を昨年12月に増額していただいたおかげで、6名の派遣が実現しました。本当にありがたいことです。

6名は、1月から複数回の台湾の文化や歴史等に関する事前研修を通して意識を高め、英語による紹介等の準備も進めてきました。2月25日(水)には、来義高校の生徒の皆さんと「オンライン交流会」も行いました。今回の研修旅行は、異文化交流はもちろんのこと、校外研修やパイワン族の食文化体験、プレスレット作りやパイナップルケーキ作り等、内容は盛りだくさんで大変楽しみな研修になっています。

そして、5月19日(火)から21日(木)まで2泊3日で、来義高校から生徒17名と先生方3名が本校を訪問することが決定しました。

来義高校の生徒(男子7名と女子10名)のホームステイの受け入れを、改めて保護者に依頼しますので、皆さんも前向きに検討してください。また、本校での歓迎会や異文化交流、授業体験等のメニューについて、生徒の皆さんの意見も取り入れたいと考えています。ぜひ協力してくださいね。



皆さんも前向きに検討してください。また、本校での歓迎会や異文化交流、授業体験等のメニューについて、生徒の皆さんの意見も取り入れたいと考えています。ぜひ協力してくださいね。